

教科・科目	【地理歴史・歴史総合】	単位数：2単位 履修年次：2年次
目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
教材	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社） 現代の歴史総合 みる・読みとく・考えるノート（山川出版社） ダイアログ歴史総合（第一学習社）	
学習方法	・歴史総合では、現代世界の課題を近現代の歴史を通して見ることにより、日本と世界の関わりについて考えていきます。授業では歴史を通して社会のあり方について考え、自分がどう関わっていくのかを考えることができるようにしていきましょう。 ・授業では、さまざまな資料を通して問いをたて、その出来事が「なぜ」「どうして」起きたのかについて、自分の考えをしっかりとまとめてください。授業では、自分の考えや意見を述べる場面も設定します。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義・特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	・定期考査 ・授業での取り組み	・定期考査 ・提出課題 ・授業での取り組み	・提出課題 ・授業での取り組み
麻高G P	 1 自律性  2 協働性  3 主体性  4 課題解決能力  5 情報活用能力  6 実践・発信力  7 メタ認知能力  8 探究心  9 チャレンジ精神  10 レジリエンス力		

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	第Ⅰ部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国	・授業での取り組み ・提出課題 ・定期考査
	6月～ 8月	第2章 国民国家と明治維新	・授業での取り組み ・提出課題 ・定期考査
	9月	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 総力戦体制と社会運動	・授業での取り組み ・提出課題
後期	10月～ 11月	第4章 経済危機と第二次世界大戦	・授業での取り組み ・提出課題 ・定期考査
	12月～ 2月	第Ⅲ部 グローバル化と私たち 第5章 冷戦と世界経済	・授業での取り組み ・提出課題
	3月	第6章 世界秩序の変容と日本	・定期考査

● [評価基準]

評価項目	評価の割合	学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末の評定
知識・技能	評価全体の40％・・主に定期考査を通して評価します。 ・近現代の歴史的な諸事象に関する基礎知識が定着しているか。 ・資料から学習に関わる情報を適切に読み取っているか。	A ～ C	5 ～ 1
思考力・判断力・ 表現力	評価全体の40％・・主に定期考査を通して評価します。 ・近現代の歴史的な諸事象同士を因果関係などで関連付けたり、 現在とのつながりを考えることができているか。	A ～ C	
主体的に学習に 取り組む態度	評価全体の20％・・授業での取り組み、提出課題で評価します。 ・近現代の歴史的な諸事象に関心を持ち、知識や技能を習得したり、 現在とのつながりを考えようとしているか。	A ～ C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1

